

 佐久市議会だより

ギカイの窓

2023年(令和5年) 8月1日 No.73

市民の広場

さーくちゃん家でごはんを食べよう

トピックス

令和5年6月定例会
一般質問 20名の議員が市政を問いました

表紙

炎舞

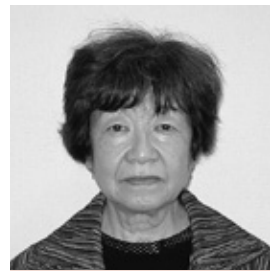
撮影者：金運爆上げ
場所：野沢

議会だより表紙大募集中!!

詳しくは19ページを
ご覧ください

佐久市社協ボランティア団体 「さーくちゃん家」で ごはんを食べよう

佐久市社会福祉協議会、通称社協の事業である、お弁当と食料品の無料提供を行っている「さーくちゃん家」でごはんを食べようのボランティアの皆さんにお話を伺いました。元々はフードドライブ（家庭で余っている食品を持ち寄り、食べ物を必要とする団体や施設に寄付をする活動のこと）から発展していった活動だそうです。



代表
小林 まり子 さん



ボランティア
相澤 伸也 さん



ボランティア
物部 雅美 さん

少しだけでも全く構わない、必要な方がいらっしやるので、フードドライブにご協力いただけると本当に助かります。

―活動内容は

お弁当や食料の無料配布を行っています。

―活動のきっかけは

私は令和元年台風19号の災害ボランティアに参加した時に、社協の職員の方から今度こういう活動をするからやりませんか」と声を掛けていただきました。

他のお2人も社協のフードドライブのボランティアに参加した

際に誘われたのがきっかけです。

もともとはお弁当のみを無料配布していましたが、どうせやる

なら、食料配布もやっていければいいのではないかと令和3年

10月から同時開催したのが始まりです。今では口コミで人が集

ま

まり、20名程で活動をしています。

始めた頃、お弁当の中身はカレーだけでしたが、昨年より

三色弁当、炊き込みご飯、おにぎり等バリエーションも増やしました。

―現在の活動の上での課題は

100円のお弁当を買いに行くお

金すらなかったという人がい

らっしゃいました。しかし、実際は本当に生活に困っている人がどこにいるかわからない状況です。そのような人へ食料を渡したくても私たちの活動を知ってもらっているのがわからないというもどかしさがあります。

一番来てほしい人の所にどうやったら情報を届けられるのが課題です。また、県からの補助が3年間の限定で今年度終了予定です。今後この活動を継続するに当たり、予算的な面でも



野沢会館	11時半～12時	お弁当	*フード	食料支援
令和5年	8月6日(日)		○	○
	9月3日(日)	○		○
	10月1日(日)		○	○
	11月12日(日)	○		○
	12月3日(日)	○		○
令和6年	1月14日(日)		○	○
	2月10日(土)	○		○

*フード…フードドライブ受付10時～11時半



無料でお弁当を配っています。どなたでもお越しください。



真心を込めて作っています。

課題があります。

—市民の皆さんへ伝えたいこと

フードドライブを皆さんにもっと知っていただきたいです。お米は前年度分まで、その他は消味期限が最低でも1か月以上前のものをお願いしています。余っているものがあればぜひ持ってきてください。平日、いつでも社協にて受け付けています。なお、ボランティアも随時募集しています。皆、前向きで、何でもとりあえずやってみようと挑戦する仲間なので活動していて楽しいです。良かったら気軽にお越しください。

*今回取材した野沢会館の他に、あいとぴあ白田でも活動が行われています。日程等の詳細は、お電話にてお問い合わせいただくと、佐久市社協ツイッターにてご確認ください。

問い合わせ
佐久市福祉総合センター
0267-6712463まで。



社協ツイッター

令和5年 6月定例会

令和5年6月定例会を6月5日から7月3日までの29日間の会期で開きました。条例改正案や令和5年度補正予算案など12件を可決、意見書案3件を可決しました。



提出された議案の詳細はこちらをご覧ください。

令和5年佐久市議会6月定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	審議結果
56	佐久市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
57	佐久市税条例の一部を改正する条例の制定について	◎
58	佐久市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	◎
59	佐久市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	◎
60	佐久市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	◎
61	市道の路線認定について	◎
62	市道の路線変更について	◎
63	令和5年度河川等土砂搬出場整備事業瀬戸土砂搬出場で内整備工事請負契約について	◎
64	訴訟上の和解について	◎
65	旧佐久市立青沼小学校跡地の処分について	◎
66	令和5年度佐久市一般会計補正予算（第3号）について	◎
67	令和5年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計補正予算（第1号）について	○
意見書案第2号	更なる少人数学級推進と教育予算の増額及び義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について	◎
意見書案第3号	へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書の提出について	◎
意見書案第4号	介護保険制度の改善を求める意見書の提出について	◎

【結果の表示】 ◎全会一致で可決・同意 ○賛成多数で可決（5ページ下段に賛否一覧）

陳情の審議結果

番号	陳情者	要旨	審議結果
令和5年 陳情第1号	佐久市三塚273-1 長野県教職員組合 佐久支部 佐久市単組 単組長 高橋美嘉	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・ 「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を 求める陳情	採択
令和5年 陳情第2号	佐久市中込3089-1SEEDビル2F地区労連内 佐久地区社会保障推進協議会 代表委員 新津俊治	マイナンバー制度による健康保険証廃止方針 の撤回を求める陳情	不採択
令和5年 陳情第3号	佐久市中込3089-1SEEDビル2F地区労連内 佐久地区社会保障推進協議会 代表委員 新津俊治	介護保険制度の改善を求める陳情	一部採択
令和5年 陳情第4号	佐久市中込3089-1SEEDビル2F地区労連内 佐久地区社会保障推進協議会 代表委員 新津俊治	国保制度の改善を求める陳情	不採択
令和5年 陳情第5号	佐久市取出町683-6 長野県退職教職員の会佐久支部 支部長 小林辰己	「安保関連3文書」の撤回と国会での慎重審 議、対話の外交を求める意見書提出につ いての陳情	不採択
令和5年 陳情第6号	佐久市三塚273-1 長野県教職員組合 佐久支部 佐久市単組 単組長 高橋美嘉	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支 給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野 県知事に求める陳情	採択
令和5年 陳情第7号	佐久市三塚273-1 佐久市教職員組合 執行委員長 高橋美嘉 外1団体	臼田小学校の開校にあたり、子どもたちのた めの十分な配慮を求める陳情	採択

賛否一覽

議案番号 議案略名	令和政策研究会											みらいの風		成和会		公明党		日本共産党		SAKUの風		議決結果					
	大塚雄一	木内義春	神津正	小林貴幸	清水秀二郎	土屋俊重	三石義文	城田領	柳澤潔	小林英朗	加藤夕紀子	吉川友子	高橋良衛	中條壽一	市川稔宣	小金沢昭秀	篠原勤	小林歳春	江本信彦	渡辺康徳	内藤祐子		小林松子	三石知志	高柳博行	塩川浩志	土屋啓子
議案第67号 令和5年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	■	○	原案可決
陳情第2号 マイナンバー制度による健康保険証廃止方針の撤回を求める陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	■	○	■	不採択	
陳情第3号 介護保険制度の改善を求める陳情	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部×	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部○	一部×	一部×	一部×	一部○	一部×	一部○	一部採択	
陳情第4号 国保制度の改善を求める陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	■	■	■	不採択	
陳情第5号 「安保関連3文書」の撤回と国会での慎重審議、対話の外交を求める意見書提出についての陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	■	■	■	不採択	
陳情第6号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	■	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	

※「○」は賛成 「■」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席 議長(江本信彦)は採決に加わりません。

※陳情第3号については、「一部○」は一部採択に賛成、「一部×」は一部採択に反対

※これ以外の案件等は、全会一致でした。

常 任 委 員 会 審 査 報 告

**条例案2件、事件案1件を原案可決、
新規陳情4件を審査。**

総務文教委員会 委員長 小林 歳 春

佐久市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、佐久市税条例の一部を改正する条例の制定について、旧青沼小学校跡地の処分について、教育・安保に関する陳情4件を審査。

公益的法人への職員の派遣等に関する条例は、市土地開発公社が解散し清算事務が完了したため、同公社への派遣規定を削ることを確認。市税条例の一部改正は軽自動車税及び個人市民税に対する改正であることを確認。旧青沼小学校跡地を学校法人西軽井沢学園に売却することについて、地域の要望であることを確認。また、不動産鑑定評価額7394万円であるが減額要因としてアスベスト等除却費用が5319万円であるため、売買代金2075万円となること、さらに学園が提供するインクルーシブ教育が市教育行政において良い先進事例になることを確認。



岸野小学校・英語教育の状況を確認

事件案4件について原案可決。

経済建設委員会 委員長 清水 秀二郎

議案第63号令和5年度河川等土砂搬出整備事業瀬戸土砂搬出場所内整備工事請負契約について、東明寺地区の沢を土砂搬出用地として新たに整備することを現地調査を行った上で審査を行い、原案可決と決しました。

佐久総合運動公園に隣接する宮田地区の土砂搬出が昨年度までに整備が完了したことに伴い、同搬出場所側に位置する東明寺地区の沢を、土砂搬出用地として整備することを現地調査を行い確認した上で、委員より、「新たに整備される搬出場所は、どのくらいの降水量まで耐えられるのか。」質疑が出され、説明員からは、「本工事では、降雨に対する対策の一つとして、30年確率降雨に耐えられる調整池を整備する予定であり、相当な降雨があった場合でも安全である。」との答弁があり、安全性の確認を行いました。



新しい土砂搬出用地を確認

**条例案3件を原案可決、新規陳情3件を
審査。**

社会委員会 委員長 高柳 博行

佐久市印鑑条例の一部を改正する条例の制定 佐久市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の制定 陳情第2号「マイナンバー制度による健康保険証廃止方針の撤回を求める陳情」を審査

今回の改正で、マイナンバーカードを持参しなくてもスマートフォンに搭載された利用者証明書によりコンビニでの印鑑登録証明書等の交付が可能となるが、本人操作でなくてはならないことを確認。
国の実施要綱改正に伴い、放課後児童支援員の要件が、業務に従事してから2年以内に研修終了予定者を含めることを確認。
陳情第2号の審査では、マイナンバーの不備が全国的に騒がれる中、現行制度で不都合はないので採決すべきとの意見、また、マイナンバーを持たない人に対しては、資格確認書の発行を予定しているもので不採択とすべきとの意見が出され、挙手採決の結果、不採択と決しました。



白田学園の現地調査時、見守りカメラ設置に関し説明を受ける様子



市民生活に直結する予算を可決しました

令和5年度一般会計補正予算は全会一致、
白田学園特別会計補正予算は賛成多数で可決

予算決算委員会 委員長 土屋 啓子

令和5年度の一般会計補正予算と白田学園特別会計補正予算の2件を原案可決

今定例会での議決により、令和5年度一般会計は補正予算約9億893万円を増額し、総額約491億円。また、障害者支援施設白田学園特別会計は補正予算120万円を増額し、総額約1億9千800万円になりました。

予算決算委員会に付託された予算案2件について、3つの分科会に審査を委任し、必要性等を慎重に審査した結果、一般会計は全会一致で原案可決と決し、また、特別会計においては、白田学園内の「見守りカメラ設置」のための増額予算について、原案に対する異議

が有り、賛成・

反対の両方の意見が出される中、挙手採決の結果、賛成多数で原案可決と決しました。



予算決算委員会での審査内容を本会議において報告

総務文教分科会 分科会長 小林 歳春

情報化推進事業費はマイナポイント付与の申込期限が9月末に延期になったための経費であることや、マイナンバーカードに関するトラブルが発生していないことを確認。小中学校情報教育推進事業費は普通教室と特別支援教室に大型掲示装置を導入する経費であることを確認。史跡龍岡城跡保存整備・大給恒顕彰事業費に関連し五稜郭であいの館増築工

事に関し、鉄骨造りでの計画を確認。分科員より、であいの館は木造であるので改めて地域の景観や地区の皆さんに意見聴取し構造について検討してほしいとの意見が出ました。美術館管理運営事業費は空調の破損の修理であることを確認。分科員より修理方法の再検討をとの意見が出されました。

経済建設分科会 分科会長 清水 秀三郎

商工費のデジタルクーポン発行助成事業費について、物価高騰等の影響を受けた地域経済の活性化を図るための経費であり、市内商工団体から出された要望書に、電子化対応を求める内容があったことから「39（サンキュー）QR」との名称で、QRコードを用いたデジタルクーポンを発行するための事業費であることを確認しました。また、日常

生活に欠かすことのできない「買い物」を通じて、キャッシュレス決済を促進することが事業の目的の一つであるとの説明を受け、分科員から、DXを推進していく必要性は理解しているが、デジタルと聞いただけで敬遠する市民もいる中、デジタルに慣れていない世代の方々にも寄り添って事業を進めるよう要望しました。

社会分科会 分科会長 高柳 博行

母子保健指導事業費の新生児聴覚検査費用については、全ての新生児が聴覚検査を受けられるよう、医療機関及び対象者へ丁寧に周知していくことを確認。障害者虐待防止対策支援事業費は、本年3月に発生した障害者支援施設白田学園における不適切事案及び改善措置を検討する第三者委員会の運営に関する

事業費であり、6回の委員会開催見込みを確認。佐久市障害者支援施設白田学園特別会計補正予算では、見守りカメラ設置のため、白田学園基金からの繰入れ補正であることを確認し、カメラ設置箇所を現地視察した上で、分科員から、風通しの良い職場環境の醸成に努めていただきたいとの意見が出されました。

20名の議員が市政を問いました

一 般 質 問



- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また、正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビやインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



一般質問とは

議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいいます。



動画配信 QRコード

Q A
 今のところ考えていない。財政支援を実施している自治体は増えている。調査しないか。

Q
 「教育機会確保法の附帯決議」にフリースクール等への「必要な財政上の措置を講ずること。」と明記されている。検討すべきではないか。

A
 危機的な状況である。今後庁内調整をしていく。

Q
 チャレンジ教室も移動だけでなく、増設すべきではないか。

A
 スクールメンタルアドバイザーが同行見学する等、現場レベルでの連携体制をとっている。

Q
 国も方針としているフリースクール等との連携の状況は。

A
 令和4年度の不登校児童生徒は288名。チャレンジ教室に通室しているのは25名。ほとんどが自宅で過ごしてる。

Q
 急増している不登校児童生徒の日中の居場所の傾向は。

A
 ◆多様な不登校支援が必要

不登校支援について
 佐久市の福祉風呂について

佐久市の不登校児童生徒数の状況
 (年間30日以上欠席) (単位:人)

	小学校	中学校
平成30年度	53	138
令和元年度	52	126
令和2年度	78	130
令和3年度	91	153
令和4年度	107	181

Q
 指定管理者と共に、割引料金の見直し、利用しやすい施設整備を考えていく。

A
 個室風呂の利用は令和4年度は13件のみ。今後の対応策は。

Q
 ①設置されていないが、改めてニーズの把握に努める。②施設内に案内表示を掲示した。

A
 ◆福祉風呂の充実を

Q
 今後、確認していききたい。

A
 平成30年議会答弁で検討する
 とした①布施温泉に風呂用車イス②みはらしの湯個室風呂の利用促進はどう検討したのか。



ないとう ゆうこ
 内藤 祐子

佐久バルーンフェスティバルについて 市有林の整備について



きうち よしはる
木内 義春

◆佐久バルーンフェスティバルについて

Q 市内地域にどんな効果があったか。

A 4年ぶりに通常開催された佐久バルーンフェスティバルは、天候にも恵まれて、小野あつこさんのスペシャルステージや、ナイトイリュージョンなど、人気の高いイベントも有り、観客員数は35万2千人と過去最高だった。経済波及効果は12億5千万円と推計された。

Q より良いイベントにするためにどのようなことをしていくのか。

A 運営には、競技関係者のほかに岸野、高瀬地区区長会、消防団、交通安全協会等が実行委員会として、市職員230名を含む延べ840人が関わり、式典や会場イベントを支えた。反省会を実施する中で、交通渋滞の緩和や、駐車場の混雑など、多くの意見や要望が出された。次年度開催

◆市有林の整備について

Q 市有林の整備について。

A 佐久市総面積の約62%、2万6千160haが森林です。その中で約51%がカラマツ。高度成長期に造林された、樹齢50年以上の高齢林が多い。市は、「佐久市森林整備計画」を策定して整備を進めている。白田の平地区では、「森林経営計画」に基づき、長伐期施業を進めている。市内の、私有林の所有者が自ら管理できない場合は、布施の大木地区をモデル地区にして、市が委託を受けるなどして、「森林環境譲与税」を当て整備を進めている。



バルーンイリュージョン

チャットGPT等生成AIの活用について



しみず ひでさぶろう
清水 秀三郎

Q 佐久市役所における活用の考え方について。

A 活用を検討するに当たり、考慮すべき主な3つの観点として

【情報セキュリティの確保】

佐久市を含む自治体においては、個人情報や機密性の高い情報を取り扱っており、情報漏えいを防ぐ万全の対策が必要。

【生成AIで作りに出された情報は「必ずしも事実とは限らない」という点】

生成AIが学習している情報は、インターネット上の、真偽が定かではないものも含まれていることを踏まえ、事実かどうかを必ずチェックすることが必要。

【3市のDX推進という観点】

市民の利便性向上や職員の働き方の改善に資するデジタル技術等は、可能な限り活用する点を踏まえ、当市は現在、会議支援ツール「ログミーツ」を導入

しており、チャットGPTの機能も利用可能であることから、

情報セキュリティが担保された環境において、試行に向けた準備を進めている。まずは担当部署より、チャットGPTの活用にあたって守るべきルールや使い方を例示するとともに、業務改善につながる用途の検証やAIへの効果的な質問方法等について、庁内で知見の蓄積と共有を図る。また、生成AI全体に関しては、実際に業務の効率化等につながるのかなど、慎重に判断していく。



通学における安全対策について

◆見守り隊の活動について

Q 市内には児童生徒の通学の安全対策のため多くの市民が見守り隊の活動に参加している。見守りのハンドブックどおりになっていないなど課題があると考える。市としてどのような対策を講ずるのか。

A 全ての見守り隊の皆様には見守り活動ハンドブックを配布して終わりにせず、機会を捉えて内容の周知をしていく。また、効果的の周知方法として他の自治体で取り組んでいる動画配信についても研究していく。

◆スクールバスについて

Q バスに乗車している児童のシートベルト着用について、また、バスへの添乗についてはどのようになっているのか。

A 一部のバスについてはシートベルトがない車両がある。シートベルトのないバスの乗車については乗車中は席を立たない、



たかはし よしえ
高橋 良衛

ランドセルなどを膝の上に置くなど安全な対策の徹底を指導している。バスへの添乗員の配置は小田井・岩村田地区の一部のみ昭和32年以来実施している。

◆その他の質問項目

・市内生ごみの収集や処理の違いがあることについて
・市内酒造業のコロナ禍における課題（酒米生産減少）について



車から見やすく、目立つ服装

小学生向けUDフォント利用について 小中学校でのエピペン使用について

Q

発達障害のある方や高齢の方の中には「言葉は理解できるが、文字を文字として認識できない（読みにくい）」といった特性を持ち、弱視、視力の弱い方などが一定数いらっしゃいます。この方々向けに開発されたUDフォントの利用の状況を伺いますが、日本の文字は多様な美しさを有していますので、小学校の利用に特化して伺います。

A

小学校で使う教科書の多くで利用されています。教科書採択に関する文部科学省からの通知においても留意事項として、ユニバーサルデザインに関する配慮についての項目があります。今後も、引き続き見る方の立場に立ち、見やすく分かりやすい文書となるように、フォントの選び方やサイズにも配慮・工夫をまいります。

Q

学校給食で初めての食材を口にして起こる「新規発症のアレ



しろた りょう
城田 領

ルギー反応」のケースがあると医師が警鐘を鳴らしています。これを緩和するエピペン（自己注射薬）の教員の取扱いについて伺います。

A

各学校にて養護教諭らによる食物アレルギーに係る対応委員会を設置し、保護者から「学校生活管理指導表」を提出してもらうことで入学前にアレルギーを有する児童を把握している。アレルギー反応が出た場合には「緊急時の基本的な対応手順」に従い対応することになります。

UD
FONT



佐久市での少子化対策について 佐久市におけるDXについて

Q

子育てに関し、気軽に相談できる仕組みを整えることで、子育て環境が充実し、少子化対策にもつながると考えるが、市の考えについて伺います。

A

子育てにおいて気軽に相談できる仕組みにつきましては、現在、市では、母子保健分野における相談支援としまして、母子の健やか相談室において、保健師や助産師、看護師を配置し、妊娠期から産前産後、子育て期といった各段階に応じて、相談支援を行っております。また、母子保健と児童福祉が一体となり妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない包括的な相談支援体制を構築するため、野沢地区において子ども・子育て支援拠点施設の整備を進めているところです。

Q

DXを進めて行く必要があると思うが、予定している取組について伺います。

A

市内のネットワークは、有線で接続されているが、今後情報系のネットワークの無線化を予定しています。佐久市DX推進プロジェクトの取組を通じ、職員の働き方の改善や市民サービスの向上のため、今後も効果的なDXを推進してまいりたいと考えております。

◆その他の質問項目

・佐久市で関係している堆肥について



おおつか ゆういち
大塚 雄一

幹線道路網と安心安全な道路の整備 姉妹都市や友好都市との交流について

Q

県道借宿小諸線バイパスの小田井農道との交差点から東側先線の延長整備について。

A

未整備区間に関し改めて県の佐久建設事務所に聞いたところ「過去に地権者の理解が得られず計画が中止となつている状況であり、関係機関や地元、地権者の合意形成が必要と認識している」とのことだった。計画地は御代田地籍で地権者は56名おり、佐久市の地権者が55%、御代田町の地権者が34%、その他の地権者が11%である。当初の先線のバイパス計画が進められることにより、西屋敷集落内の通過交通を減らし安全性が向上す

Q

るので、整備について地元の意向を把握し、県や御代田町とも相談していく。

◆その他の質問項目

・中部横断自動車道の早期の全線開通について
・エストニア共和国サク市、モンゴル国ウランバートル市スフバートル区、神奈川県茅ヶ崎市との今後の交流について



こばやし たかゆき
小林 貴幸

位置図



答弁時の市側提示資料

容器包装プラスチックの現状について 子宮頸がんについて

◆容プラの混入物について

Q 民間事業者の処理施設を視察した折、混入物が多く驚いた。収集量と混入物の状況について。

A 令和3年度1千153トンのうち、混入物64トン。4年度1千72トンのうち、45トン。ライター・包丁・オムツ・小型家電・電池等、多種多様なものを確認。

◆子宮頸がんについて

Q 誰でも起こり得る病気であり、毎年一万人以上ががんと診断され、三千人近い人が亡くなっている。平成28年から令和元年までの県内罹患患者数は。

A 28年194人、29年182人、30年181人、令和元年171人である。ワクチン接種と子宮がん検診が有効な予防策である。

Q 市における予防策・HPVワクチンの接種体制と子宮頸がん検診の周知方法について。

A 今年度から80〜90%を防ぐことが期待できる9価ワクチンが



容プラの混入物



つちや ひろこ
土屋 啓子

導入され、対象年齢は、小学6年から高校1年相当の女性で一定間隔をあけて、ワクチンの種類や年齢により、2・3回接種する。周知方法は令和4年度からは対象年齢の方に、リーフレットと予約票を郵送し、接種と検診の勧奨を行い、未接種の方には接種勧奨はがきを郵送している。20歳以上の偶数年齢の方には、受診券を郵送し、検診の勧奨を行っている。

学校での生理用品設置・英語教育 一時保育申請・高齢者施設での虐待

◆学校での生理用品設置

Q 保健室で配布している生理用品だが、恥ずかしいとか休み時間には保健室に行く時間がないという理由で利用が少ないと考える。佐久市の学校でもトイレに設置できないか。

A これまでどおり、保健室で個別に渡すようにする。

◆英語教育について

Q 音声と文字を関連づけて効果的に英語を学べるフォニックス方式を導入できないか。

A 小学校では同様の考え方に基づき授業がされている。英語専科教員の中には独自にフォニックスを研究して情報共有している先生もいる。

◆一時保育申請について

Q 一時保育の申請書には利用の理由を書く欄があるが、リフレッシュのためなど書きづらいという声もある。選択式にできないか。また、入所申込み同様、

オンライン化にしたらどうか。

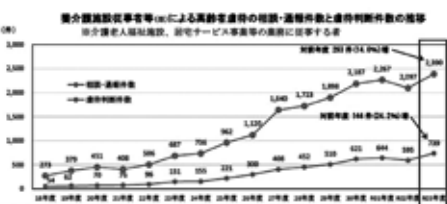
A 年度内に選択式に改め、オンライン申請も導入したい。

◆高齢者施設での虐待

Q 過去5年間の虐待件数は。7施設、多かったのは身体的虐待と心理的虐待が各4件。

A 職場のコミュニケーションや人手不足という原因も考えられるが、再発防止対策は。

A 改善計画の提出を求めている。その後、報告を受け、高齢者の生活状況の確認や職員への聞き取りなどを行っている。



厚生労働省ホームページより



よしかわ ともこ
吉川 友子

児童館について

公立保育所ICTシステムについて

◆児童館について

Q 利用者が多く長年拡張が求められてきた佐久城山児童館の館庭を、隣のJA移転などで生じるスペースを使い拡張できないか。

A 地元区からの要望にこれまで「学校利用で対応する」と回答してきたが、利用者が再び増える見込みであることや、周辺状況の変化も勘案し、今後、詳細な調査を行い屋外の遊び場の確保について検討していきたい。

Q 新臼田小の開校後も児童館は以前の5館を使っている。遠い館に行く子は学校から30分以上歩いており、熱中症や交通安全面の不安の声が出ている。空き教室の活用などで学校近くに放課後の居場所を作れないか。

A 当面は既存児童館の利用を考えているが、安全第一のため、例えば新小の一室を借りることも考えられるので、利用者や保



館庭の拡張が検討されることになった
佐久城山児童館



ひろし 浩志
しおか 塩川

◆保育所ICTシステム

護者の声を聞いて検討したい。

Q 市内公立保育所で今年度本格導入された民間のICTシステムは、保育士の負担軽減につながる一方、持病やアレルギー、発達記録など配慮が必要な個人情報も大量に民間企業に把握される仕組みのため、情報収集に必要ではないか。

A 今は保護者がスマホにアプリを入れる際に承諾を得ているが、今後はより丁寧な通知で情報の利用目的等について周知したい。

災害時、安心して避難できる体制 市上空の航空機低空飛行について

◆災害時、安心して避難できる体制について

Q 避難所収容人員の定め方、避難者が入りきれない場合の対応方法は。

A 3.3平方メートルに2名を目安とし、収容人員に達する前に、別の避難所の開設等の対応を計画している。

Q 防災備蓄品の保管場所は。

A 市防災備蓄庫、各支所、旧春日小学校へ分散保管している。

Q 保管場所は浸水想定区域対象の河川も考慮されているのか。

A 災害で届かない場所が有る場合、他の場所から運ぶことなど臨機応変に対応していきたい。

◆市上空の低空飛行について

Q 米軍機が米国で行わない低空飛行を植民地ように、事前通告なく、住宅地や観光地上空で行っているとしたら怒りを感じる。5月4日米軍機と思われる低空飛行について県、国から情

報提供や事後報告はあったか。

A 県を通じて照会し6月16日までに「自衛隊機ではない」との回答のみがあった。

Q バルーンフェスタバルの会場に2年続けて飛来したことをどのように考えるか。

A 不明航空機の飛行は問題、国の報告は不足していると考ええる。当然フェスタバル中も含め市民生活に恐怖を与えるような低空飛行は大きな問題であり、機会を捉え関係方面に訴えていきたい。



さとし 知志
みついし 三石



佐久市観光モデルコースPR事業について



しのはら つとむ
篠原 勤

Q 事業の目的、内容等の概要について伺います。

A 本事業は、市内の魅力的な観光資源や観光モデルコース構築や情報発信が進んでいないという課題を解決するため、(株)ブランドスタメディアと委託契約し同社が発行する「電子雑誌・旅色」や紙媒体の冊子4万部及びPR動画を作成し、滞在型周遊観光モデルコースや市の魅力を紹介しています。

A

「電子雑誌・旅色」は令和7年2月26日までの約2年間はインターネット上にて無料で閲覧いただけます。また、紙媒体の冊子は市内外の施設・店舗や銀座NAGANOなどへ配布しております。PR動画は各種ウェブサイトに無料で公開しています。

A

Q 電子雑誌・旅色の効果について。公開2か月時点で電子雑誌・旅色の閲覧数約16万2200人、メディアへの露出度数は約48万7千件です。



モデルコースの一つとなっている旧中込学校

Q

電子雑誌・旅色や紙媒体冊子及びPR動画の公開と期間。事業費は、2190万円です。

内容は、タレントの永尾まりやさんをナビゲーターに起用し、熱気球や旧中込学校、びんころ地蔵尊、望月馬事公苑などの観光スポットや、特色あるレストランや体験型酒蔵の宿など若い女性層を意識し選定した魅力あるモデルコースとして紹介しております。

学校給食費を無償化に 自衛官募集事務に係る情報提供



こばやし まつこ
小林 松子

◆学校給食費を無償化に

Q 子育て支援策として、学校給食費を無償化にできないか。佐久地域11市町村中、無償化になっていないのは佐久市と小諸市だけだが、無償化についてどう考えるか。財源の約4億円については、毎年繰上償還している10億円の一部を使えば良いと考えるが。

A

給食費の無償化には約4億円かかるが、現状、国の財政支援の措置がないので実施は困難。財源は、繰上償還という話ではなく、どこかの部分の歳出をカットするかを示してもらえれば真剣な議論になる。

◆自衛官募集事務に係る情報提供からの除外申請受付を

Q 市は毎年、防衛大臣からの依頼を受け、市内の18歳、22歳になる方の名簿を紙媒体で提供している。提供の内容は、名前・住所・生年月日・性別である。

A

提供されたくない人の除外申請を受付できないか。県内19市の内9市が紙媒体により自衛隊に情報を提供している。そのうちの松本市が、今年度より情報提供を望まない方の除名申請を受け付ける方針を示した。

Q

自衛隊への名簿提供について、広報佐久などに載せて市民に明らかにするべきでは。

A

法に基づいてやっていることなので、今のままの体制で続けていきたい。



子育て支援策の調査結果では、経済的支援がトップ

熱中症対策の推進について 未来の佐久市の取組について



こばやし としはる
小林 歳春

Q 近年の市内における熱中症搬送者数は。

A 令和2年25名、令和3年15名、令和4年35名、このうち65歳以上が45名です。

Q 高齢者の熱中症対策は。

A 「高齢者のための熱中症対策」のパンフレットを渡しながら周知啓発を行う他、地域包括支援センターや、民生児童委員による見守り訪問をしながら熱中症対策に努めている。

Q 子どもの熱中症防止の取組は。

A 普通教室のエアコン設置は全て完了済み。特別教室へは順次進める計画である。熱中症警戒アラートの発表の有無にかかわらず児童生徒の健康や命を守るため、万全を期すよう具体的な対策を講じていく。アラートが発表された場合は、運動は原則禁止、体育行事や野外活動の中止等、判断をちゅうちょなく行う。通学時の対策は水筒の持参、



熱中症に注意

ヘルメットに替えて帽子の着用、日傘の使用や、下校の時間変更等の対策を講ずる。

Q 子ども議会の取組は。

A 平成17年より開催、市内公立各小中学校の代表者の子ども議員から市政に関する質問を受け、市長・教育長が答弁。エストニア共和国サク市との子ども交流がこの取組から実現している。子どもたちの意見の表明であり貴重な体験の場でもある。今後も工夫を重ね良い意見聴取の場となるよう工夫していく。

佐久市にある地域で継承されている 民謡について



こばやし ひであき
小林 英朗

Q 望月地区には「望月小唄」があるが、望月小唄保存会へは、市として、どのような支援がされているか。

A 望月小唄保存会は昭和22年に発足され、「地域の伝統的な郷土芸能として望月小唄を伝承・普及させることで、地域の元気づくりに貢献することを目的に活動している」団体である。保存会に対する支援は、財源に過疎債を活用した「駒の里過疎対策プロジェクト」の交付を行っている。

要望をもとに、「つどい」「学び」「結ぶ」場を提供し、学びや成果を地域社会に還元することを目的としている。

公民館講座では、講座の参加者へのアンケートをもとに意見や希望を踏まえ、計画を立てて開催している。

地域には民謡を始めとして貴重な伝統文化・芸能があるが継承者や講師をお願いできる方がいるかどうか、課題もあるが、開催の要望や講師の状況を踏まえて検討していきたい。



Q 地域で継承されている民謡を、公民館講座として開催することはできないか。

A 公民館講座はニーズの把握や

市の女性活躍推進に関して 集落支援員の導入に関して



かとう ゆきこ
加藤 夕紀子

Q 佐久平女性大学へ対する応募者のニーズ。

A 20代〜40代は、大学での学びを通し、自分の意思や考えを相手に伝えるためのスキルを習得し、自信を持てるようになり、これからのキャリア形成に役立たいと考えている。50代〜60代は、多様な価値観に触れたい、学んだことを地域貢献等に生かしたい等のニーズが多かった。

Q 審議会等における女性審議委員の登用率に関して。

A 女性の登用率は、前年度との比較では11・4ポイント増加している。社会教育に関わる分野、保健福祉に関わる分野、人権・男女共生に関わる分野に多く、一番多いのは行政改革推進委員会で64・3%である。

AQ 集落支援員の導入に関して。

集落支援員とは地方公共団体が集落の在り方に関する、住民と地方公共団体との話し合い等

◆その他質問

・あいとびあ白田の修繕に関して



佐久平女性大学入学式の模様

に従事する方を地域の実情に応じて委嘱する制度で、地域の実情に詳しい内部の人材の配置が可能。令和4年度時点、県内19市中6市で導入。集落支援員としてふさわしい人材を確保することがポイントである。当市においても旧町村地域など周辺地域の高齢化の進行により地域活力の維持、増進は喫緊の課題。効果が確認でき、適切な人材確保の見通しがつけば、前向きに導入する。

電子母子手帳アプリの導入について 通級指導教室について



わたなべ やすのり
渡辺 康徳

◆電子母子手帳アプリの導入について

Q 電子母子手帳アプリの導入について、長野県では市町村自治体で母子手帳アプリ「母子モ」が共同調達されており、県内32の自治体での導入が進んでいる中、佐久市の導入の予定について伺います。

A 佐久市においても、来年度からの本格的な「電子母子手帳」の導入を目指し取り組む方向で検討していく。

一方で他の民間事業者の提供するアプリについても排除することなく、必要な機能や特長についても研究を進めるとともに、今後ニーズの把握にも努めていく。

◆通級指導教室について

Q 佐久市における通級指導教室の種類や教室数など開室状況について、また、課題など伺います。

A 小学生を対象としたLD等通

級指導教室を中込小学校で、また、サテライト教室を白田小学校で開室している。さらに、本年度から、東地区、浅間地区、浅科地区、望月地区の児童生徒への対応として新たに高瀬小学校にもLD等通級指導教室を開室し、支援の充実を図っている。なお、中学生を対象としたLD等通級指導教室は中込中学校に開室している。課題については児童生徒の特性が多様化している中、特性に合った指導、支援を実施していくことが課題。



野立て太陽光発電施設について



たかやなぎ ひろゆき
高柳 博行

Q 浅科地区の桑山太陽光発電施設の現状は。

A 現在の状況は、事業者により木の伐採や整地がなされ、敷地内の雨水を浸透させるための施設設置と法面保護のための種子吹付緑化工事が行われているが、要綱で定める事前協議前に工事に着手しているため、市要綱違反事案として引き続き事業者へ要綱上の手続を済ませるよう直接指導を行う。

Q 市内における太陽光発電施設設置計画の情報については。

A 太陽光電池モジュールの合計出力が50キロワット以上の発電施設で、まだ工事が未着手の案件は、浅間地区3件、野沢地区2件、中込地区1件、白田地区4件、望月地区4件の市内で14件ある。

Q 野立て太陽光発電施設設置に関する条例の制定の考えは。

A 近年、防災面や環境景観への

懸念から地域住民と事業者の間で問題となる事例が多くなり、長野県においても9月定例会での条例提出を目指している。

仮に、佐久市で条例を制定し勧告や命令を明文化した場合、規制に強制力を持たせることは可能となるが、再生可能エネルギーの利用促進を妨げる恐れがあり、さらに条例化することで、事業者の営業の自由や土地所有者の財産権を実質的に制約することになり、補償問題等のリスクを追うことになるので、現段階では条例の制定は検討しない。

◆その他の質問

・廃校の利活用について



一部崩れかけた法面

選挙と主権者教育・旧中込学校150年記念事業・木質ペレット製造設備補助



やなぎさわ きよし
柳澤 潔

◆選挙と主権者教育について

Q 年々選挙の投票率が下がってきているが「佐久市明るい選挙推進協議会」の活動は。

A 区長会、公民館や校長会などで構成し、最近では親子連れ投票推進やイオンモールに投票所開設などを行ってきた。

Q ドイツは学校で政治教育を行うことで投票率が上がった。

A 中立性の観点から慎重な授業になっている。

◆旧中込学校150年記念事業について

Q 旧中込学校竣工150周年記念事業の内容はどうか。

A これから実行委員会を立ち上げ検討する。

Q 保存会からの要望に、現存する最古の洋風学校にふさわしい駐車場の整備があるかどうか。

A 利便性と安全性を重点に検討していく。

Q 旧中込学校と龍岡城跡は共に国の史跡であり、連携すること

A で魅力ある発信になるかどうか。

A 市川代治郎氏と大給恒公の功績も含めて、有効な情報の中身として発信していく。

◆木質ペレット製造設備補助について

Q 木質ペレット製造設備を民間で行う場合の補助はどのようなものがあるか。

A 県で3分の1の他、市が30万円を上限として補助している。

Q 市は気候非常事態宣言を发出しているのに、あまりにも補助金額が少くないか。

A CO₂削減は国の大きいプロジェクトであり、市としても積極的に進めていく。



旧中込学校 第2駐車場

職員の人材確保と今後について 介護事業・エネルギー政策について

◆職員の人材確保と今後について

Q 中途退職職員を減らすため、どのような対策を講じていくか。

A 業務量を削減し超過勤務を縮減させ、働きやすい職場環境の整備。人事評価制度の確立、専門職として職場配置を固定化する制度の確立。職員の相談しやすい職場環境を整える。

◆介護の現況について

Q 高齢者の介護を高齢者が行うことなどに対する支援策及び予防策について伺う。

A 支援策として地域包括支援センターで相談業務を行い、家族介護者交流会、オレンジカフェの開催。予防策としてほねぶと健康クラブ、はつらつ音楽サロン等の開催。専門職による健康講話の開催や訪問指導などを行う。

◆再生可能エネルギーの利用推進について

Q 農業用ハウス暖房利用における代替エネルギー対策について



こがねざわ あきひで
小金沢 昭秀

伺う。

A アルストロメリア栽培農家数戸がヒートポンプの導入。今後、国や県と制度利用等の相談をしながら対応していく。

Q 小水力発電の普及について伺う。

A 県が実施する、小水力発電の事業地選定や地域調整を行う地域参画型小水力発電導入推進事業に情報提供をする。



平根マイクロ水力発電所

総合交通対策特別委員会において「デマンドワゴンさくっと」のコールセンターを現地調査しました



本年4月から本格運行が開始された「デマンドワゴンさくっと」。そのコールセンター業務を担っている佐久ケーブルテレビを現地調査しました。

電話受付が開始となる午前8時になると、一斉に電話が鳴り出し、対応する6名のオペレーターの電話はすぐに埋まり、多くの市民から利用され期待されるデマンド交通システムであることを実感しました。

現地調査に引き続き意見交換も行い、コールセンター業務で感じている制度の課題などをお聞きしました。



コールセンター業務における課題などをお聞きしました



受付開始時間とともに一斉に鳴り出す予約の電話



丁寧に受け答えをするコールセンター業務の様子

総合交通対策特別委員会では、より使いやすく愛される公共交通の在り方について、今後も調査研究を重ねてまいります。

あなたも議会を 傍聴してみませんか。

★次の定例会（令和5年9月定例会）の日程（予定）は下欄のとおりです。

本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。

ただし、委員会は会場の都合で、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様様を撮影、録音することはできません。

聴覚に障害のある方で、議会の傍聴を希望される場合、手話通訳及び要約筆記を配置いたします。事前に申込みが必要になりますので、詳しくはホームページをご覧ください。



議会だより表紙 大募集中!!

佐久市内で撮影した
行事・風景などの
写真や、イラストを
募集中です。

次回11月1日発行号の
締切りは、9月29日です。

詳細は、佐久市議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局へお問い合わせください。



ご応募をお待ちしております。



上記に関する問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495（直通）

次回定例会のお知らせ 【令和5年9月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
8月27日	28	29	30 本会議 (開会)	31	9月1日	2
3	4	5	6	7	8 本会議 (一般質問)	9
10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13	14 本会議 (議案質疑) 委員会	15 委員会	16
17	18	19 委員会	20 委員会	21 委員会	22	23
24	25 委員会	26	27	28 本会議 (閉会)	29	30

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

手話を学ぼう

～会話をしてみよう～



賛成

右手の指先を伸ばして
振り上げます。

反対

両手の指を付け根から折り、
左右から合わせます。



YouTube佐久市議会
チャンネルはこちら



聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります



まつい なおと
松井 直大 さん
(中込小学校6年生)

佐久っ子の夢、応援します!

僕の夢は、バスケットボールの日本代表選手です。保育園の時から抱えている夢ですが、去年、河村勇輝選手の試合を間近で見ても自分もこうなりたいと強く思いました。

チーム練習以外にも家で修練し、プロ選手の動画を見ながら、自分のプレーに取り入れることで、県選抜に入ることができました。

県選抜では、自分よりうまい人がいるので良いプレーができます。技術向上には、あきらめない、感謝の気持ちを忘れないことを大切にしています。

バスケットボールはシュートをきめたり、ディフェンスでボールをカットする時が1番楽しく、ミドルシュートが得意です。チームのキャプテンなので、しっかりまとめていきたいと思っています。



●長野県酒造組合佐久支部から 5月16日 要望をいただきました

佐久市産酒米の作付けの拡大等を求める内容の要望が、長野県酒造組合佐久支部から市議会へ提出されました。また、同要望は市に対しても提出され、その要望活動に、信州佐久の地酒振興議員連盟の会長以下役員が同行し、酒米拡大に対する支援を市長に求めてきました。

●信州佐久の地酒振興議員連盟総会を開催 6月27日

議員連盟では総会の開催に併せ、酒米拡大に対する支援を要望された佐久酒造組合の13歳の皆さん、市長を始め市経済部をお招きし、要望内容の現状等についてお話を伺いながら研修も行いました。

市議会では、今後においても「佐久市清酒の普及の促進に関する条例」に基づき、清酒に関連する産業の振興や清酒の普及促進等に努めてまいります。



●佐久市商工団体連絡協議会から 6月2日 要望をいただきました

物価高騰等の影響により地域中小企業の経営が厳しい状況にある中、佐久市商工団体連絡協議会から市議会に対して、中小企業が意欲的に経営改善、安定経営に向けて打ち込めるよう支援を求める内容の要望をいただきました。要望内容を重く受け止め、今後の議会活動に生かしてまいります。

●議会広報モニター委嘱式を開催 6月29日

議会広報モニターの委嘱式を行い、議長よりモニターの皆さんへ委嘱書が交付されました。モニターの皆さんには、より読みやすく、分かりやすい議会だより「ギカイの窓」になるようご意見をいただいております。

